

第1回 スマホ教室

2月15日（水）、スマホ教室「基礎編」を開催しました。講師として、本市と包括連携協定を締結しているソフトバンク（株）米子からアドバイザー2名を迎え、12名が参加しスマホの使い方を学びました。

この日の参加者は、スマホを普段からお使いの方や、使い方に不安のある方がいました。が、全員基本的なところから勉強しました。習得したのは、①地図、②カメラ、③音声アシスタント、④QRコードの4つのアプリです。①地図では、現在地がすぐに分かることや世界地図が入っていることに驚きました。②カメラでは、風景や友達などと「自撮り」ができる体験も行いました。

このように何度も繰り返し使うことから、スマホに慣れ使いこなすことにつながると教わりました。

参加者は、普段から気になることなど熱心に質問しながら、楽しく学ぶことができました。



いろいろな使い方を熱心に学ぶ参加者

植菌体験モニターツアー開催

2月19日（日）、草間台地を中心に、新見市観光協会主催の「椎茸の植菌体験モニターツアー」が開催され、県南を中心に15名が訪れました。

当日は、新見駅から貸切バスで、まず羅生門を訪問しました。雨上がりの悪条件だったため、第一展望台までは降りることができず、認定ガイド3人の案内で遊歩道からの眺めを楽しみました。また隣接の羅生門さくら公園の様子も見ることができました。昼食は、そば道場「田舎屋」で草間名物ケンチンそばと炊き込みご飯をいただき、草間ならではの昼食を堪能されました。

午後からは、草間市民センター前駐車場で、椎茸原木への植菌体験を行いました。草間カレスト里山の会（堀江利明会長）メンバーによる指導の元、まず専用ドリルを使ってコナラの原木に約30個の穴を空けることから体験。初めてドリルを使う人も多く、馴れると上手になり、歓声を上げながら楽しんで挑戦していました。その後空けた穴に、一駒ずつ丁寧に椎茸菌を植え付けました。植菌した原木は、市民センター建物の裏に運び、この秋以降の収穫に向けて保管されます。このツアーでは、秋の収穫時期に再び草間に訪れていただき、収穫体験も行う予定となっているそうです。



専用ドリルで原木に穴を空ける参加者

「かれんふえと」改修工事が完成！

新見市が、昨年8月中旬から工事着手していた「かれんふえと」2棟の改修工事が完了し、屋根や外壁材を張り替え、装い新たな外観を見せています。また、建物内部に備品等を搬入してオープンに向けた準備が整えられています。

今回は、新しくなった内部の写真等を公開します。内装の壁紙はきれいに張り替えられ、照明器具も新調されています。また、エアコンやIH仕様の台所などの他、WiFi接続もされ、リモートワークでの活用も可能です。市農林課では、旅館業法の検査など最後の手続きが進められており、近日中にオープン日程が発表されるものと思われます。（2月24日現在）

草間地域では、新型コロナ禍で「密」を避けるレジャー需要が高まる中、アグリツーリズムとしての農業体験などを主体として、都市部からの誘客を図り、地域の活性化に役立つものと期待しています。

【戦国時代の草間台】

探検ロマン草間台遺産No. 143

岩山神社境内にある「正遷座祭祀記念碑」には、「当社は天文年間、出雲の富田城主尼子晴久の家臣杉布思入道が当村川崎城主として居城の際、出雲大社の大國主命を御主神として勧請し…」とあります。天文年間というとき、

織田信長、豊臣秀吉、徳川家康が次々に誕生したころです。当時は戦国時代、尼子晴久は備中進出をはかっていて天文8（1539）年に備中松山城を攻撃しています。その後、尼子晴久は、天文21（1552）年、因幡国・伯耆国・美作国・備前国・備中国・備後国の守護となりました。しかし、永禄元（1558）年のころから備中国に進出した毛利氏に、永禄9年に滅ぼされてしまっています。その後、織田信長の台頭が引き金になり、あの長篠の戦いがあつた天正3（1575）年には、織田信長と結んだ三村元範の紅葉城、三村元親の松山城が、毛利氏と結んだ小早川隆景に落とされました。いわゆる「備中兵乱」です。これらの戦いに草間台地の人々が巻き込まれなかったことは考えられず、その都度人々はどうのよう選択をしてどのように戦ったのか？そんなことも考えながら、大河ドラマ「どうする家康」を見るのもいいのではないのでしょうか？



正遷座祭祀記念碑



ベッドルーム



リビング



バスルーム



キッチン

短歌

大寒波過ぎればやつと春日和光の春に期待膨らむ

中村すみえ

果つるともなき機織のをさの音

滑 都

立春を三日過ぎたる宵の口

杉 秀樹

恵方巻きこ年はどこも届けられず

西山富美子

リハビリの帰りに見つけし飛行雲

どこまで続くしほし見とれる

デイサービス初めて会いし人なのに

長岡愛子
（2首作成）

俳句

着膨れて夕飯の仕度腕まくり

長田保子

鯽雑煮自問自答のこの一つ

橋本八重子

川柳 題「交」「満」

旧友と昔話に花が咲く
梅の花漬け物にして満喫し

高畑文子

誘ってはくれず友だち先に逝き
満足に動けもせず指図する

小川久子

寒空に背中丸めて懐手
八割で自分の心を満たす世に

才田茂美

交流のゲートボールの懐かしさ
作物の豊年満作有難い

中村すみえ

一言の重み大臣また交替
五体満足父母に授かるこの宝

笹田 彰

梅見頃膝を交える日向ぼこ
満天の星が望郷へと誘う

田井芳枝

じいじとの交渉成立パソコンに
満タンと言って見直す持ち合わせ

西本八寿江



